

# かけはし

第25号 平成8年7月15日発行  
発行 千代田区教育委員会



イギリスの生徒 書道を学ぶ (今川中)

- ☆ようこそ！ ウェストミンスター  
市立学校生徒のみなさん
- ☆ウェストミンスター市から教員着任
- ☆子供の健康と体力づくり
- ☆日本の文化遺産に触れて  
(中学校修学旅行)
- ☆自然に学ぶ (嬬恋・箱根・軽井沢)

毛筆習字は初めての体験なので、とても珍しく、そして楽しく授業に参加することができました。

日本の友達から、書いている「友」という字の意味も教えてもらいました。

\*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

# ようこそ！ ウェストミンスター

## ウェストミンスター市立学校生徒の感想

学校の生活はイギリスともっと違うと思っていたが、それほど違わなかった。だれもが親切で、みんなは私と話をしたかったようだ。わくわくした気分、新しいことで一杯になった。

ホストファミリーはとても親切で、家族の一員として仲間に入れてくれた。サラダやおでんが好きだった。日本の麺も好き。なんでも素晴らしく楽しむことができた。ただ、日本のお風呂の使い方が難しかった。いつもご馳走がたくさんで、あまりたくさん食べられないので残してしまうこともあった。

今回のプログラムはとてもよかった。学校も楽しかったので、もっと長く学校生活をしたかった。軽井沢はとてもよい企画だった。日本の田舎の様子を見学する機会になった。

何もかも楽しかった。もっと日程が延びたらよいと思った。(女子生徒)

時差があって大変だったけれど、天気もよくホストファミリーも親切にしてくれたので、とてもよかった。日本の文化がしみこんだみたいだ。

学校の授業での教え方は、イギリスと違っていたが面白かった。ホストファミリーは、とても親切でよく助けてくれた。洗濯までしてくれ、日本のお風呂の使い方を教えてくれた。日本の料理では、寿司が特に好きで、すき焼きもおいしかった。刺身は嫌いなものもあった。

軽井沢はとてもよかった。5日間ぐらいあるとよい。ディズニーランドも楽しかった。全体の日程をもっと延ばしてほしいと思う。(男子生徒)

## ホストファミリーの感想

言葉や食べ物、生活環境の違う子供を受け入れることは確かに大変なことでしたが、終わってみれば教えられることがたくさんありました。例えば、自分の意見をはっきり表に出すという面は、日本人の苦手とするところであり見習うべき点だと思いました。また基本的な生活習慣や相手の思いやる心はジェスチャーや態度で分かりますが、会話することによって理解し得ることは計り知れないと思いました。なかなかできない、すばらしい経験をさせていただきました。ありがとうございました。(Aさん)

受け入れる前の不安とは裏腹に、大変楽しい日々を過ごすことができました。日本の生活を知ってもらう中で、こちらもたくさんのことを教えてもらいとても勉強になりました。大切なのは、たとえ言葉が分からなくても、相手を理解しようと努力することだと痛感しました。得難い貴重な経験を与えていただいたことを、関係の皆様とわが子に感謝したいと思います。(Bさん)

彼らは想像の世界で日本という国を認識していたのが、このように短い期間であっても肌で感じることができたと思います。そして、残された日数が少なくなるにつれ、時間を貴重なものと感じ心が通じ合うようになりました。このような小さな交流が国同士の誤解や、争いのない平和な社会に将来大きく貢献していくような気がします。またいつかきつと再会したい、そう思う気持ちが最大の成果だと思います。最後になりましたが、このような貴重な体験を家族共々させていただき、教育委員会の諸先生方をはじめ、関係各位の方々に厚くお礼申し上げます。(Cさん)



▲ホストファミリーの意見交換会

# ター市立学校生徒のみなさん

千代田区立中学校生徒海外交流教育の一環として、昨年秋には区内中学生代表がイギリスのウェストミンスター市へ派遣されました。ホームステイなどを通じて有意義な体験をしてきましたが、このことについては、「かけはし」22・23号でお知らせしたとおりです。

交流教育ということで、去る5月11日に今回はウェストミンスター市立学校生徒代表10名(男女各5名)が来日し、昨秋渡英した中学生たちとの再会を果たしました。

千代田区滞在中の日程は下記のとおりですが、区内中学生の家庭でのホームステイを通じて日本の生活を体験したり、折からの神田祭では、飛び入りでお神楽まで担がせてもらったりすることができました。また、区内中学校の授業に参加したり、移動教室へ同行し残雪の浅間山を望みながら、目にしみるような新緑の軽井沢を楽しんだりすることもできました。さらに、ホスト中学生と一緒に東京ディズニーランドに行き、楽しいひとときを過ごしました。期間中天候にも恵まれ、すべて予定通りに進められたことはなによりでした。短い滞在中にはありましたが、若い彼らの心の中に「日本」をしつかりと焼き付けてくれたことと思います。そして5月21日、全員無事イギリスに帰国していきました。

## イギリスから派遣された生徒



ダニエル・レイド



アンナ・スミス



ローラ・ジェンキンス



ナオミ・ニコルソン



ジェネシス・ヨウ



エディー・ストライド



トーマス・キャスター



ヤン・ロツツ



アレックス・マランゴス



アントニー・ライト

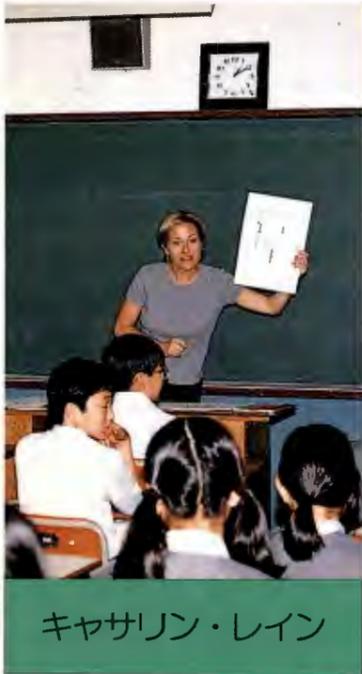
## 千代田区滞在中の日程

5月11日(土)	成田着・ホストファミリーとの対面式	16日(木)	(野鳥の森・浅間牧場・白糸の滝・宿舎)
12日(日)	神田祭の見学 (昭和通りから秋葉原駅前広場)	17日(金)	(群馬の森・区役所前帰着)
13日(月)	各中学校で生活する 歓迎レセプション	18日(土)	各中学校で生活する
14日(火)	各中学校で生活する	19日(日)	各家庭でホストファミリーと過ごす
15日(水)	九段中の軽井沢移動教室に同行する (松井農園・懐古園・宿舎)	20日(月)	東京ディズニーランドの見学
		21日(火)	成田発 帰国の途へ

## ウエストミンスター市から派遣教員着任

昨年度から開始されたロンドン・ウエストミンスター市との海外交流教育の一環として、ウエストミンスター市の派遣教員キャサリン・レイン先生が5月1日付で着任されました。

任期は1年間で、主として区内中学校の英語指導や国際理解教育などに携わることになっています。その他に日本の伝統や文化、言語、生活習慣なども学んでいかれるそうです。どうぞよろしくお願ひします。



キャサリン・レイン

## 日本の印象

私は5年前に1年間、長崎で生活したことがあります。そのときに日本という国に大変興味を持ちました。たまたま派遣教員の話があり早速希望しました。日本はとてもきれいな国で、表面は西歐的ですが、内面は伝統的なところがたくさん見られます。日本の子供たちは、ロンドンの子供に比べて指導しやすいように思います。内気ですが、あまり悪い行動もしないようです。ただ気になるのは、日本の学校には細かい規則がたくさんあるので、先生方はそれを守らせるために多くの時間が必要なのではないかということです。また、これから外国の子供との交流も盛んになるでしょうが、大事なのはそれぞれの国の子供たちの共通点を見つけ、お互いにそれを意識するにすれば、親しさも一層増してくるものと思います。

来日してから既に3か月近く経ちましたが、現在住んでいる住宅はとても気に入っています。場所がよく、どこへ行くにも大変便利です。近くに小さい店も多く、何でも買うことができますが、ロンドンで慣れていてスーパーマーケットも懐かしくなることがあります。

教育委員会では、人口減少や少子化に伴う区立中学校の小規模化に対処するとともに、これからの時代に見合った質の高い学校教育を展開していくためには、中学校の適正規模化・適正配置は、避けて通れない重要な課題であると考えています。しかし、この中学校の適正規模化・適正配置については、区民の皆さんの間にも、様々な意見があるところであります。

教育委員会としては、今後の区立中学校の適正規模化・適正配置について、区民関係者などの幅広いご意見を伺っていきたくと考えております。

そこで、この度、今川中学校、練成中学校の学区域における(仮称)第三中学校に関する懇談会を設置しました。

その発足の会は、去る六月十三日に和泉小学校で開かれました。当日は、午後三時に開会、自己紹介に続いてこれまでの適正配置に対する取り組みの経過や今後の懇談会についての基本的な考え方を説明し、今後の運営について話し合いが行われました。次回は教育委員会が関連の資

## (仮称)第三中学校に関する懇談会が発足

料などを提出し、それをもとに議論を上げていくことが確認され閉会しました。

懇談会のメンバーは、小学校の適正配置を行ったときに小学校ごとにできた協議会の関係者をはじめ、地元町会、民生・児童委員、街づくり協議会委員、青少年委員、中学校同窓会、関連する中学校、小学校のPTA関係者などです。

懇談会における議論の内容については、広く地域の皆さんにお知らせをしていきたいと考えています。

今後の手順としては、地域で議論していただいた上で、区長部局とも調整し、区議会においても議論していただき、最終的な結論を得ていくこととなります。

区民の皆さんも中学校の適正配置について意見、提言、要望などをお寄せください。

問い合わせは  
教育条件整備担当課  
☎(03)664-0151 内3121

## 千代田区滞在中の横顔



▲お神輿わっしょい(神田祭)



▲はなてんがよく似合うね(神田祭)



▲懐古園でのひととき



▲歓迎レセプションにて



▲浅間牧場でスケッチ



▲軽井沢宿舎での夕食



▲シンデレラ城を背景に



▲英会話の授業に参加(九段中)

# 子供の健康と体力づくり

最近の子供の体位はめましく向上し、小学校八年生でも身長が大人をしのぐものが見立ってきました。しかし、体位の向上が即、健康で強靱な体力につながっているかといえは、必ずしもそのとは言えません。そこで今回は、最近の子供の健康や体力の実態・傾向などについて、番田小学校養護教諭の中村豊子先生に説明していただきました。

四月、学校ではじか力の一年生を迎えて新学期が始まると同時に、定期健康診断が開始されます。これはこの健康が六月までの間に実施されるように法律によって義務づけられているからです。

ここでは健康診断の結果から、最近の子供たちの体の特徴をあげ、それに対応する学校や家庭の在り方について述べてみたいと思います。

## 一 子供の歯並びの乱れが増加

あごが小さく、歯並びが乱れ、口を大きく開けられない子供が目立つて多くなっています。

歯の大きさは生まれた時に既に決まっています。あごが小さくなれば歯もきれいに並びきれず、当然、歯並びが悪くなってしまう。歯並びが悪いと歯と歯の間に食べかすが残り、不潔になり、虫歯や歯肉炎になりやすくなるばかりでなく、発音も不明瞭になってしまいます。

あごの発育の悪さの原因は、ものをよく噛まないことにあるようです。



▲耳鼻科の検診（番田小）

「噛む」ということを最近の子供たちの食べ物の面から探ってみると、あまり噛まなくてもいいメニューの出現に原因があります。その代表的なもの、ファーストフードと電子レンジで加熱するだけのレトルト食品です。この二つの共通点は、軟食で食事時間短縮ということにあります。しかも、脂肪が多く繊維が少

なく味付けも濃いので、このメニューに偏り過ぎると、あごの発育はかたまりなく、子供の成人病を引き起こす危険さえあります。学校給食でも、歯並びの問題が出てきたから献立に工夫を加え、野菜、煮物など噛みごたえのあるものを取り入れています。家庭においても、噛むことの多い食べ物で、素材から料理することが大切だと思います。そして、よく噛み、ゆつくりと時間をかけて食事をするこの意味を、子供たちにしっかりと考えさせたいものです。

## 二 アレルギーが増えた

アレルギーは、三十年余りのうちに随分と身近な病気になってきました。学校で見られる症状としては、「喘息」「アトピー性皮膚炎」「アレルギー性結膜炎」「鼻炎」「食物アレルギー」などです。

一般に小・中学生の四十％、高校生の三十％ほどがアレルギー症状であるといわれています。幼児・児童では、食事と家ダニ、大気汚染などが大きな原因となつていきます。そこで学校では、教室での動物の飼育や環境整備について十分な配慮をしています。また、食物アレルギーについても、除去食を作るなど個人的な対応も行っています。

## 三 からだが硬い子供たち

スポーツテストの結果から「敏捷性や持久力はすべれているが、柔軟性に欠け、筋力が低下している」という子供の実態が見えてきます。最近の子供たちは、からだのバランスの取り方が下手なせい、さら此細なことでも転んだり、落ちたり、さら



▲スポーツテスト

## 随想

### きょういく

記憶も定かでないほど、何十年かぶりに科学技術館を訪れた。科学への興味・関心は人一倍強いと自認しているが、なかなか足が向かなかつた。今回訪れたのは、六月二日、NHKで放映された「おれは日本のガリレオだ―実験名人が行く―」を観たのが動機である。

日本のガリレオは、米村傳治郎先生。平成七年度まで都立小金井北高校で物理を指導し二年生の学級担任だったが、今年の三月に四一歳で退職された。今は科学技術館で「ワークス」という展示場のプロデュースをしたり、各地区の科学センターなどに出かけたりして、子供たちを楽しませる物理実験を演示している。先生の退職に当たって、クラスでのお別れのあいさつや、離任式での生徒代表の贈る言葉には、先生の温かな人柄が感じられ感動的なシーンが映し出されていた。米村先生の生き方や人柄も立派だが、物理教師の仲間、「ガリレオ工房」という研究会を組織し、楽しみながら科学の原理が理解できるように、様々な実験を工夫し発表し合っている。様々な実験を工夫し発表し合っている。様々な実験を工夫し発表し合っている。

イルでライデン瓶（蓄電器）を作り、そこに摩擦電気を蓄え、十数人の子供たちが手をつないだ輪に放電する。子供たちは奇声をあげて驚き、感動し、電気の流れを体感する。ガラスでスプリングを作りガラスの弾性を見せたり、段ボール箱に直径十センチ程の穴をあけて空気砲を作り、遊びを通して科学に興味と関心を持たせる。



昔の科学館は展示が中心で、解説を読みながら見学したように記憶している。今は、製作した作品で遊び、ものに触れて体感し、操作して変化を調べる展示が中心で、飽きたり、時間を持て余すことはない。多くの小・中学生が嬉嬉として見学している。私も五階の「ワークス」を楽しみにしていたが、二階からの見学で二時間程がすぐに過ぎてしまった。

## 編集後記

間もなく子供たちは夏休みに入ります。暑い夏を乗り切るために、健康で強い体力を身に付けさせたいものです。育ち盛りの子供たちにバランスの取れた食生活と、適度の運動を心掛けることを、家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

さて、今回派遣されてきたウエストミンスターの生徒たちは、神田祭で日本の文化に触れ、軽井沢移動教室やティズニランドでは生徒同士の友情を深め、ホームステイでは心温まるもてなしを受けるなど、多くの経験ができたと思います。今回の交流の機に、今後も日本とイギリスの生徒のきずながより一層深まることを期待します。

これから始まる夏休みは、楽しい思い出を残せる絶好の機会です。素晴らしい経験をして、二学期を元気に迎えてほしいものです。

なお、シリーズでお伝えする予定の千代田区の文化財については、今回紙面の都合上紹介できませんでした。

「かけはし」についての「意見・感想」ご要望をお待ちしています。

## 随想

かわまた さだお  
区立中学校長

### きょういく

教育広報「かけはし」第二十五号  
平成八年七月十五日発行  
編集発行／千代田区教育委員会  
〒102 千代田区九段南1-6-11  
TEL 026640151 内3114

# 日本の文化遺産に触れて

—中学校修学旅行（京都・奈良）—



▲奈良公園の鹿と（一橋中）



▲おいしかった奈良のそうめん（麩町中）



▲清水寺にて（練成中）



▲南禅寺で座禅（今川中）



▲浅間牧場にて（九段中）

## 自然に学ぶ

婦恋自然体験交流教室（小5）

箱根移動教室（小6）

軽井沢移動教室（中1）



▲婦恋でジャガイモの植付け（麩町小）



▲箱根で寄木細工の実演を見学（九段小）